

証券取引法研究部会報告

白石裕子
(法学部講師)

昨年度の活動報告

昨年度は、発足間もないこともあり、とりあえず関係書籍の購入整備に重点を置いた。その理由は、図書館に証券取引法関係の本がごく少数しかなく、当部会研究員が研究活動を進めたくてもそれが困難であったこと、また、これまで証券取引法を勉強しようとした学生から図書の不足を嘆く不満の声が多く聞かれ、今後、学生および院生が証券取引法を研究する場合にもこのままではまったく対応ができないという状態だったからである。

そこで、まず関係図書の充実が急務であったが、図書館の年間図書予算はそのほとんどを商法関係の図書にさかざるをえないため、証券取引法関係の図書を法学研究所に於いて整備するよう努めた。これを当部会研究員の研究資料とするとともに、ひろく他の研究部会研究員の利用に供する態勢作りを進めてきた。

1991年度活動計画

本年も引き続き図書の整備に重きを置く。昨年に於ける書籍の蒐集の結果、基本的な和書が7冊および洋書18冊（うち12冊はセット）を揃えることができたがとうてい不十分である。特に証券取引規制の進んだアメリカの単行本・雑誌を充実し、あわせて今後世界の注目を集めるであろうE Cの法規制に関する解説書ならびに判例集などを重点的に整備したいと考えている。

以上のような資料の蒐集を進めながら、今後は、日本とアメリカ及びE C諸国間の証券取引規制に関して、法制度自体の観点から、また歴史的沿革や運用上の問題点などの観点から比較法的研究に取り組み、将来わが国の証券取引規制が進むべき方向性を探ってゆく計画である。